住所　長野県松本市蟻ヶ崎５丁目１番３号
文貴順　昭和22年５月21日生
住所　福岡県行橋市西宮市４丁目２番37号
辛月基　昭和22年８月27日生
姜達也　昭和52年８月28日生
住所　大分県中津市丸山町110番地１
朴信泰　昭和52年１月11日生
住所　東京都世田谷区若林４丁目16番13号
朴利佳　昭和45年６月17日生
住所　東京都板橋区大和町４番８号
李秋子　昭和26年９月29日生
李徳剛　昭和54年11月６日生
李文江　昭和56年12月19日生
李嘉剛　昭和58年11月13日生
住所　東京都足立区千住緑町１丁目11番地
姜信浩　昭和37年９月４日生
住所　東京都足立区東和２丁目22番19号
楊清玉　昭和61年３月17日生
住所　富山県高岡市伏木一宮１丁目１番20―102号
鄭智恵　昭和55年10月２日生
住所　愛知県春日井市六軒屋町西２丁目３番地17
林展生　昭和58年７月３日生
住所　石川県金沢市浅野本町２丁目25番１号
林友美　昭和54年６月10日生
住所　愛知県豊橋市江島町52番地１
朴將基　昭和37年12月18日生
崔正順　昭和37年12月16日生
朴宏幸　平成６年６月１日生
朴孝佳　平成７年４月24日生
住所　名古屋市天白区中平３丁目213番地
鄭詳徳　昭和４年10月９日生
朴丁順　昭和12年12月28日生
鄭タマミ　昭和39年３月26日生
住所　奈良県生駒市白庭台３丁目11番16号
丁託嗣　昭和48年８月９日生
丁優太　平成20年６月16日生
住所　奈良県大和郡山市城町1807番地25
黄芳尚　昭和28年９月１日生
住所　奈良県大和郡山市池沢町501番地20
魚知子　昭和42年10月29日生

○外務省告示第百三十一号

平成二十二年三月九日にカブールで、アフガニスタン・イスラム共和国における「識字能力強化計画（第二期）」のための贈与に関する次の概要の書簡の交換が国際連合教育科学文化機関との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　アフガニスタン・イスラム共和国における「識字能力強化計画（第二期）」の実施に必要な生産物及び役務の購入に必要な資金の贈与
2　贈与額　十七億九千百万円
3　署名者
日　本　側　廣木重之在アフガニスタン大使
国際連合教育科学文化機関側　青柳茂在アフガニスタン事務所長
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文

○外務省告示第百三十二号

平成二十二年三月十二日にアブジャで、バウチ州及びカツィナ州地方給水機材整備計画のための贈与に関する次の概要の書簡の交換がナイジェリア連邦共和国政府との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　バウチ州及びカツィナ州地方給水機材整備計画を実施するために必要な生産物及び役務の購入
2　贈与の限度額　五億五百万円
3　贈与の供与期限　平成二十五年七月三十一日まで
4　署名者
日　本　側　植澤利次在ナイジェリア大使
ナイジェリア側　サヤーディ・アッバ・ルマ農業・水資源大臣
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文

○外務省告示第百三十三号

平成二十二年三月十二日にマプトで、モザンビーク共和国における「地雷除去計画」のための贈与に関する次の概要の書簡の交換が国際連合開発計画との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　モザンビーク共和国における「地雷除去計画」の実施に必要な生産物及び役務の購入に必要な資金の贈与
2　贈与額　一億八千三百万円
3　署名者
日　本　側　瀬川進在モザンビーク大使
国際連合開発計画側　ンドラム・ンゴクウェイ国際連合常駐調整官兼国際連合開発計画在モザンビーク事務所代表
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文

○外務省告示第百三十四号

平成二十二年三月十二日にアクラで、ガーナ共和国政府に対する贈与に関する次の概要の書簡の交換がガーナ共和国政府との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　ガーナの貧困削減に向けた努力推進に寄与するため、ガーナの貧困削減に係る計画等に充当するための資金を贈与すること。
2　贈与額　三億三千六百万円
3　署名者
日　本　側　片上慶一在ガーナ大使
ガーナ側　クリス・ポド外務・地域統合副大臣
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文

○外務省告示第百三十五号

平成二十二年三月十二日にアクラで、貧困農民支援に関する次の概要の書簡の交換がガーナ共和国政府との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　貧困農民への支援に力点をおいた食糧生産の増大に寄与するために必要な生産物及び役務の購入
2　贈与額　四億六千万円
3　贈与の供与期限　平成二十三年三月三十一日まで
4　署名者
日　本　側　片上慶一在ガーナ大使
ガーナ側　クリス・ポド外務・地域統合副大臣
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文

○外務省告示第百三十六号

平成二十二年三月十二日にアクラで、太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画のための贈与に関する次の概要の書簡の交換がガーナ共和国政府との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画を実施するために必要な生産物及び役務の購入
2　贈与額　六億千万円
3　贈与の供与期限　平成二十三年三月三十一日まで
4　署名者
日　本　側　片上慶一在ガーナ大使
ガーナ側　クリス・ポド外務・地域統合副大臣
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文

○外務省告示第百三十七号

平成二十二年三月十二日にアクラで、森林保全計画のための贈与に関する次の概要の書簡の交換がガーナ共和国政府との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　森林保全計画を実施するために必要な生産物及び役務の購入
2　贈与額　七億円
3　贈与の供与期限　平成二十二年三月三十一日まで
4　署名者
日　本　側　片上慶一在ガーナ大使
ガーナ側　クリス・ポド外務・地域統合副大臣
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文

○外務省告示第百三十八号

平成二十二年三月十二日にアクラで、気候変動による自然災害対処能力向上計画のための贈与に関する次の概要の書簡の交換がガーナ共和国政府との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　気候変動による自然災害対処能力向上計画を実施するために必要な生産物及び役務の購入
2　贈与額　七億円
3　贈与の供与期限　平成二十二年三月三十一日まで
4　署名者
日　本　側　片上慶一在ガーナ大使
ガーナ側　クリス・ポド外務・地域統合副大臣
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文

○外務省告示第百三十九号

平成二十二年三月十二日にコナクリで、ギニア共和国における母子保健改善計画のための贈与に関する次の概要の書簡の交換が国際連合児童基金との間に行われた。

1　援助の目的及び内容　ギニア共和国における母子保健改善計画を実施するために必要な生産物及び役務の購入
2　贈与額　一億二千五百万円
3　署名者
日　本　側　住本博在ギニア大使
国際連合児童基金側　ジュリアン・モルコム・ハルネ在ギニア事務所代表
平成二十二年三月三十日
外務大臣臨時代理
国務大臣　平野　博文